

千葉大学医学部卒業(1983), 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員(1985), 船橋二和病院リハビリテーション科科長(1992~1997), 日本福祉大学赴任(1997), University of Kent at Canterbury客員研究員(2000~2001), 日本福祉大学保健福祉学科科長(2005~2006), 大学院社会福祉学研究科科長(2007~2008), 大学院医療・福祉マネジメント研究科科長(2009~), 健康社会研究センター長(2009~).

【研究分野】

社会疫学, 医療経済・政策学, リハビリテーション医学.

【キーワード】

健康格差, 健康の社会的決定要因, 医療・福祉政策, 政策評価, 長寿科学(老年学).

【担当授業科目】

学 部: リハビリテーション医学, 保健福祉学専門演習 I.

通学大学院: 保健・医療・福祉サービス論, 福祉サービスマネジメント演習 I・II.

通信教育部: 健康格差社会, リハビリテーション医学, 医療・福祉サービス論.

通信大学院: 高齢者福祉論特講.

【主な研究テーマ】

1. 社会疫学と健康格差研究

介護予防を志向して, JAGES(日本老年学の評価研究)プロジェクトを組織し, 社会疫学と健康格差の研究をしている. 個人レベルの社会経済的因子にとどまらず, ソーシャルキャピタルなど地域レベルの因子にも着目している.

2. 保健・医療・介護の経済・政策学

超高齢社会に備え, 医療・福祉分野の政策評価を中心とする政策科学研究にとりくんでいる. イギリスの医療政策やケアの質評価もテーマとしている.

3. 医療・福祉マネジメント

リハビリテーション患者データベースの開発や終末期ケアにおけるケアマネジメントのあり方を研究している.

【主な研究業績】

<著書>

- 『「健康の社会的決定要因」－疾患・状態別「健康格差」レビュー』, 共著, 日本公衆衛生協会, 2013. 01.
- 『「医療クライシス」を超えて－イギリスと日本の医療・介護のゆくえー』, 単著, 医学書院, 2012. 03.
- 『医療・福祉マネジメント－福祉社会開発に向けて 改訂版』, 単著, ミネルヴァ書房, 2012. 03.
- 『Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Older People』, 編著, Trans Pacific Press (Melbourne), 2010. 11.
- 『「健康格差社会」を生き抜く』, 単著, 朝日新聞社, 2010. 01.
- 『高齢者の終末期ケア－ケアの質を高める4条件とケアマネジメント・ツール』, 共編著, 中央法規出版, 2010. 04.
- 『検証「健康格差社会」－介護予防に向けた社会疫学的大規模調査』, 編著, 医学書院, 2007. 03.
- 『健康格差社会－何が心と健康を蝕むのか』, 単著, 医学書院, 2005. 09.
- 『「医療費抑制の時代」を超えて－イギリスの医療・福祉政策』, 単著, 医学書院, 2004. 05.

<論文>

- 「格差社会における健康とストレス－社会疫学の視点から」, 『ストレス科学』26(4), 単著, 日本ストレス学会, 2012. 04, pp. 1-13.
- 「健康格差社会と社会政策」, 『社会政策』4(2), 単著, 社会政策学会, 2012. 10, pp. 41-52.
- 「リハビリテーション患者データベースの二次分析－プロセス, 可能性と限界－」, 『The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine』49(3), 単著, 2012. 03, pp. 142-148.
- 「WHOの健康格差対策」, 『日本公衆衛生雑誌』58巻7号, 単著, 2011. 07, pp. 550-554.
- 「Well-being (幸福・健康) と社会共通資本－イギリスからの示唆－」, 『日本医療・病院管理学会誌』48(2), 単著, 2011. 04, pp. 95-105.
- “Cohort Profile: The AGES 2003 Cohort Study in Aichi, Japan.”, Journal of Epidemiology Vol. 21 No. 2, 共著, 2011. 02, pp. 151-157.
- 「幸福・健康の社会的決定要因－社会疫学の視点から」, 『科学』80巻3号, 単著, 2010. 03, pp. 290-294.
- 「ソーシャル・キャピタルと健康」, 『行動計量学』Vol. 37 No. 1, 共著, 日本行動計量学会, 2010, pp. 27-37.

<学会発表>

- 高齢者の疫学研究と自治体の予防活動, <メインシンポジウム3>地域における疾病予防研究と自治体の予防活動支援, 日本公衆衛生学会, 2012. 10.
- Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Older People and Development of a benchmark system, The 7th International Conference on Social Security, 2011. 09.

【所属学会】

日本リハビリテーション医学会(1984~), 専門医1991~, 臨床認定医1992~, 評議員2004~, 代議員2012~, 身体障害者福祉法指定医(1988~), 日本公衆衛生学会(1996~, 認定専門家2011. 4~), 日本老年社会科学会(1996~), 日本社会福祉学会(1997~), 日本医療・病院管理学会(1997~, 評議員2005~), 社会政策学会(1999~), International Epidemiological Association(2011~), 日本ストレス学会(2012~2015).

【社会における活動と仕事】

社会福祉士試験委員(2007~2009), 精神保健福祉士試験委員(2007~2009), 韓国保健福祉家族部 老人長期療養保健諮問委員(2008~), ELSEVIER Social Science & Medicine, Advisory Editor (2009~), 厚生労働省 高齢者医療制度改革会議 委員(2009~2010), 日本社会福祉学会 代議員(2010~), 日本医療・病院管理学会 教育委員(2012~2013), 日本ストレス学会 評議員(2012~2015).

【受賞学術賞】

- 社会政策学会奨励賞(「健康格差社会」－何が心と健康を蝕むのか, 2005), 2006. 06.